

I 専門分野の成長戦略

観光分野

観光分野の取り組みの概要

① 産業振興計画のこれまでの取り組みによる成果と課題

高知県観光の取り組みとして、「つくる」「売る」「もてなす」のそれぞれの段階ごとに戦略目標を立て、観光振興に取り組んできました。「つくる」では、地域の核となる観光拠点の整備や、土佐の観光創生塾による旅行商品づくりを進めました。「売る」では、大河ドラマ「龍馬伝」の放送を追い風にした、「土佐・龍馬であい博」をはじめとした博覧会の実施やセールス・プロモーション活動を展開しました。「もてなす」では、おもてなしタクシーや、おもてなしトイレの推進による観光客の満足度向上、龍馬パスポートによる周遊促進とリピーター化に取り組みました。

これらの取り組みにより、計画策定前は300万人台前半であった年間の県外観光客入込数が、平成29年、30年には2年連続で440万人を超えることができました。

その後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、本県観光は令和2年から大変厳しい状況に直面しましたが、令和4年には観光需要の回復の兆しが見られ、令和5年には連続テレビ小説「らんまん」の放送やドラマの放送にあわせた観光博覧会「牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知～」の開催により、過去最高となる県外観光客入込数を見込んでおります。

② 第5期計画の取り組み

第5期計画では、高知ならではの魅力をじっくりと、深く、たっぷりと味わっていただくため、「極上の田舎、高知。」をコンセプトとした「どっぶり高知旅キャンペーン」を4年間展開し、第5期計画の目標である観光総消費額1,389億円と県外観光客人泊数563.9万人泊の実現を目指します。

柱1 長期滞在につながる観光地域づくりの推進

地域ならではの魅力ある素材を生かした観光商品づくりを推進し、中山間地域などへの国内外の観光客のさらなる誘客の拡大を目指します。

また、地域住民、観光事業者、市町村等の連携による地域内での周遊促進、滞在時間延長にも取り組みます。

柱2 戦略的セールス&プロモーション

「どっぶり高知旅」をテーマにしたコンテストの実施やシーズンごとにテーマやターゲットを設定したプロモーションの展開など、マスメディアを活用した情報発信を進めます。

また、NHKの連続テレビ小説「あんぱん」を生かした情報発信や、神楽などの伝統芸能などを組み込んだナイトイベントなどによる閑散期における誘客の促進に取り組んでいきます。

柱3 おもてなしの推進

ユニバーサルツーリズムを推進するため、バリアフリー観光の相談窓口を運営するほか、特設ウェブサイトでの情報発信を行います。

また、観光ガイドの裾野の拡大やスキル向上、中山間地域で複数の宿を中心に長期滞在できる態勢づくりを支援するなど、長期滞在を目指した受皿づくりを進めます。

柱4 国際観光の推進

定期便化に向けた国際チャーター便の誘致を強化します。

また、アドベンチャーツーリズムの推進などによる旅行商品の高付加価値化や、観光事業者と連携した消費額拡大の取り組みを促進するなど、消費拡大に向けた受入環境整備についても進めていきます。

柱5 観光人材の確保・担い手不足の対応

宿泊施設の生産性向上につながる高付加価値化や年間を通じた観光需要の平準化を進めることで、宿泊施設の安定的な雇用を推進していきます。

また、観光関係事業者とともに、外国人材の活用の制度の周知や現地送り出し機関等との関係構築に取り組むことで、外国人材の積極的な活用についても進めます。